

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

(施設名) 障害者就労センターくんわ技研

目次

I	はじめに	1
II	全体状況報告	
1	重点項目	1
2	利用者状況	1
3	実習受入等	2
4	行事等	2
5	職員状況	2
III	個別事業報告	
1	各事業	2
(1)	事業の取組み	
(2)	課題・次年度への提起	
2	各部署	2
(1)	事業の取組み	
(2)	課題・次年度への提起	
3	防災・防火訓練報告	3

I はじめに

熊本地震から2年が経過し、就労支援における作業量は昨年度に比べ増加傾向にあるが、収益の増加に結びつける事が出来なかった。これは受注が多様化し、時期や天候に左右された要因が考えられる。顧客ニーズをあげられるように更なる習熟と技術向上を行い、対応していく必要がある。福祉サービスにおいては、A型事業の方は一般就労をめざしている利用者が2名、就労に結びついた。B型事業では利用者個々のニーズや能力に合う作業支援を行っている。両サービス共に今後も利用者の作業提供や本人の主体性へ繋がる支援を心がけ、事業を展開したい。

II 全体状況報告

1 重点項目（目標）に対する報告及び考察

（1）コスト面の顕在化

3M（ムリ・ムダ・ムラ）を無くすように勤め、生産及び計画を明確化したが、満足いく生産効率向上は出来ていない。また5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）にいたってもまだ不十分な部分もあった。この項目が最重点項目であり、職員間の連携や意識がコスト面に反映できていなかったと考えられる。

（2）マネージメント強化

作業日報、月間作業予定表を作成し管理を行った上で、経営会議や予算状況の把握、組織力の強化を推し量った。しかし職員個々の意識が上がっておらず、手直しや納期ギリギリでの対応や変化点が多く発生した。次年度も職員の育成と組織連携を強化する。

（3）利用率の向上及び作業の確保

利用率は、A型利用者 現員18名で95% B型利用者 現員16名で88% 私的な事案での欠席や長期欠席もなく利用が出来ている。個々の支援計画も良い方向で進捗できておりモニタリングや相談も順調に展開できた。作業にいたっては利用者ニーズや能力が多様化しているが、作業と支援サービスに関しての不満や苦情事案は無かった。

2 利用者状況

A型事業に関しては、2名を一般企業へ就職させる事が出来、社会自立を目指した支援と利用者の意識は上がっている。しかし定員25名に対し現員18名で利用定員を割っている。ハローワークや福祉事務所等関係機関と連携を図りながら利用者確保に取り組んでいく。B型に関しては定員15名に対し現員16名であり、支援計画やニーズは充足していた。

3 実習受入等

支援学校や福祉機関からの紹介で実習生の受け入れを行った。

4 行事等

夏まつり、どんどや、忘年会、ラグビー観戦等の行事計画を行い利用者へ親睦の機会や地域交流を図った。

5 職員状況

福祉サービスの基本姿勢、基礎知識習得等を目的とした外部研修への参加やサービス提供者の専門的知識の向上の為の研修へも参加した。

Ⅲ 個別事業報告

1 各事業

(1) 就労継続支援A型

① 支援の取組

一般就労を目指せるように、知識や技術向上に向けた作業支援や安定し自立した生活が送れるように生活相談を中心に支援を展開した。11月には2名の利用者が一般企業への就職が出来た。

平均給与	104,174円
------	----------

(2) 就労継続支援B型

① 支援の取組

工賃アップを目指し、個々の能力と希望に添える様支援を行った。またコミュニケーションを多くとり円滑な支援と利用者の就労意欲の向上に努めた。

平均工賃	38,388円
------	---------

2 各部署

(1) 就労継続支援A型

① 生産事業の取組

ア 量製造作業

阿蘇圏域から熊本市内までのご要望やご紹介があれば広い圏域での活動を展開しており、個人宅、事業所等の受注は増加している。

イ 除草作業

昨年から年間契約も継続していただけるお客様もあり、お客様からの紹介で新たなお客様からの受注も増えている。

(2) 課題・次年度への提起

ア 量製造作業

お客様の満足を満たす事ができておらず、簡単な手直しや納期の調整等が発生していた。品質・納期など信用に掛かる課題であるので、次

年度はより専門性を高められるように、専門企業への外部研修や技術習得の為の実習等も考えていく。

イ 除草作業

天候等に左右されやすく、作業日の調整や作業自体の手直しや作業遅延等もあり、お客様へご迷惑を掛けた事案もあった。こちらも技術講習会等への参加や外部作業の見学等を行い技術向上に努める。

A型事業全般としては、柔軟かつ迅速な対応や品質面での課題があり、余計なコストがかかり収益に直結出来なかった。雨天時や閑散時期に代替できる作業種の確保や、年間契約等でのお客様の確保や紹介していただけるお客様を大事に信用される事業を展開したい。

② 就労継続支援B型

(1) 事業の取組

ア 襖・障子作業

昨年より受注量は増えている。個人宅やお客様からの紹介事案が多い。

イ 清掃作業

不動産業者や官公需の受注も継続的に続いている。新たに個人宅からの依頼も増えている。

(2) 課題・次年度への提起

ア 襖・障子作業

納期調整やお客様への連絡遅れなどの対応に課題があった。お客様に納得していただけるよう、技術の向上と対応力が求められるので、講習会等に参加しスキルアップを行う。

イ 清掃作業

拭き残しや作業に出向いたところでの器具破損などの課題があった。不動産業者や官公需からの契約事案での受注は今後も安定して継続していただけるように技術向上を目指す。又個人宅からの依頼から紹介が結び付けられるように誠意ある作業を心がけたい。

B型全般としては更なる工賃向上を目指して、受注量の確保に取り組む。また作業の満足度から生まれる紹介や利用者の就労意欲の向上に努める。

3 防災・防火訓練報告

総合訓練を3月に実施。職員、利用者への防災意識向上を行った。